

平成 27 年度 がん総合対策推進事業について

1 事業の趣旨

岡山市がん対策推進条例に基づき、がんに対する総合的な施策を推進する。

2 事業内容

(1) 岡山市がん対策推進委員会の開催

(2) がんの予防

① がんに関する教育の推進

② がんに関する啓発の充実

- ・ がん受診率向上プロジェクト推進企業グループと協働で、市役所 1 階市民ホールにて「がんを知る展&健康市民おかやま 21 展」を開催する。

③ (拡) 禁煙治療費助成制度の公費負担分の増額

- ・ 禁煙外来が保険適用外 (※) となる禁煙希望者を対象として、禁煙治療費の一部 (成人: 約 7 割、未成年: 約 9 割) を助成し、禁煙外来を利用しやすくする。

※ 「1 日の喫煙本数×喫煙年数」が 200 未満の者

④ 禁煙相談窓口の開設

- ・ 喫煙者やその家族が禁煙について気軽に相談できる場を設ける。(保健福祉会館、中区保健センター)

⑤ 健康市民おかやま 21 (第 2 次) の推進

- ・ 健康市民おかやま 21 推進組織等と連携し、がん予防のための日常生活の改善や禁煙対策等の推進を図る。

(3) がんの早期発見・早期治療

① がん検診の実施

② 「けんしんガイド」の各戸配布及び配布時の愛育委員による声かけの実施

③ がん検診啓発イベントの実施

④ (拡) 乳がん検診の啓発

- ・ 乳がん月間にあわせ、NPO 瀬戸内乳腺事業包括的支援機構や、愛育委員協議会と連携し、ピンクリボンキャンペーンを実施する。

⑤ 働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業

- ・ 子宮がん及び乳がん検診について個別受診勧奨を実施するとともに、検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図る。

※ 無料クーポン券を送付

- ・平成25年度に無料クーポンの配付を受けたが未受診である者（子宮がん 22～37 歳、乳がん 42～58 歳）
- ・平成27年度に初めて検診の対象年齢になる者（子宮がん 20 歳、乳がん 40 歳）

※ 個別受診勧奨を実施

上記のクーポンの配布を受けた者に対して送付

⑥ 働く世代への大腸がん検診事業

- ・大腸がん検診無料クーポン券を、一定年齢（40～60 歳までの 5 歳刻み）の対象者へ送付し、受診促進を図る。

⑦ （拡）40 歳休日セット検診の拡大

- ・特定健診や主ながん検診がスタートする 40 歳の国保被保険者のうち希望者を対象に実施している無料の休日セット健診（特定健診＋胃・肺・大腸がん検診）の対象者を 130 人（H26 年度）から 200 人に増加（H27 年度）。

⑧ 肺がん、乳がんの受診勧奨強化

男性の肺がん、女性の乳がん死亡が多い等のデータをもとに壮年期や前期高齢者を対象に各がん検診受診勧奨を効果的に行う。

⑨ 精密検査受診勧奨強化

- ・本市における年齢調整死亡率が上位である胃がん及び肺がんについて、精密検査の受診勧奨を行い、精密検査受診率の向上を図る。

（４）がん患者・家族支援

① がん相談窓口案内カード等の作成

- ・がん患者及びその家族等に対する相談体制の充実強化のため、がん相談支援センターやがん患者会を紹介するがん相談窓口案内カード、チラシ及びポスターを作成し配付する。

② がん患者の負担の軽減

- ・がん患者会やがん相談窓口を紹介するカードを患者会と協働して作成し、関係窓口等で配布する。
- ・岡山市がん患者家族会連絡協議会の公共施設等の利用について支援する。

③ がん医療水準の向上及び緩和ケアの充実

- ・「岡山県がん診療連携協議会」にオブザーバーとして参加し、意見及び情報交換を行う。